

事業評価調書

◎基本情報

| | | | | | | | |
|-------------|--|--|--|------------|--------|--------------|-----|
| 年度 | 令和3年 | 会計コード | 10 | 一般 | 事業コード | 38110 | |
| 事業名 | 健康医療バイオ産業支援費 | | | | | | |
| 評価担当課 | 所属名 | 経)経済戦略推イノベーション | | | | | |
| | 課長名 | 吉田 泰斗 | 担当者名 | 及川 可菜 | 電話番号 | 011-211-2379 | |
| 施策名 | 主 | 超高齢社会に対応した健康・福祉産業の創造 | | | | | |
| | 副 | | | | | | |
| アクションプラン | ● 対象 ○ 対象外 | | 戦略ビジョン | ● 対象 ○ 対象外 | | | |
| 事業の性質 | ○ 経常経費 ● 臨時的経費 | | | | | | |
| | ○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理 | | | | | | |
| 事業内容 | 実施形態 | ○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助助成 ○ その他 | | | | | |
| | 目的 | 短期 | 研究開発関連の補助件数(累計)H30:35→R4:116件、市内バイオ産業の売上高H30:527億円→R4:730億円 | | | | |
| | | 長期 | 市内に大学等の強みがあり、高齢化を背景に成長が期待される「健康福祉・医療」関連企業の研究開発、ビジネス機会拡大、新規参入等を促進することにより、健康医療バイオ産業を活性化して札幌の新たな基幹産業へと育成し、道外に流出する理系人材の雇用拡大にもつなげる。 | | | | |
| | 取組内容 | 【目的】「健康福祉・医療」関連企業の研究開発、ビジネス機会の拡大等を促進する。 【内容】(1)研究開発支援:①研究シーズ発掘補助、②事業化支援補助、③先端プロジェクト産業応用検証補助(再生医療)、④医療連携事業創出補助(医療ニーズ、感染症)(2)ビジネス機会の拡大支援:①国内展示商談会参加支援、②海外展示商談会参加支援、③IT・ものづくり企業の道外展示商談会(3)ヘルスケア産業ビジネスモデル構築支援 | | | | | |
| | 実施結果 | 研究開発補助として、若手研究者に対する補助、企業と大学の共同研究に対する補助、感染症の治療・予防に向けた技術・製品の開発に対する補助などの事業へ、計26件採択し、補助金を交付した。また、ヘルスケアビジネスモデル構築支援として有望なヘルスケアビジネスを発掘し、支援と経費補助を行った。道外展示商談会参加支援として、コロナ禍の状況を考慮し、国内はリアル会場に参加する企業の支援、海外はオンラインでの企業の参加を支援した。 | | | | | |
| 事業実施における工夫点 | 事業の一部は、研究機関等との連携が深いノーステック財団への補助事業により実施した。 | | | | | | |
| 対象者 | 健康医療バイオ分野に関連する企業・研究者 | | | 開始 | 平成30年度 | 終了 | 0年度 |
| 関連法令・条例・要綱等 | | | | | | | |
| 他都市の状況 | 神奈川県(川崎市)、神戸市、沖縄県などの各自自治体において、「健康福祉・医療」関連企業の研究開発、ビジネス機会拡大、新規参入等に対する支援を実施 | | | | | | |

◎事業費

(単位:千円)

| | | 令和2年度決算 | 令和3年度予算 | 令和3年度決算 | 令和4年度予算 |
|------------|---------|--|---------|---------|---------|
| 事業費 | | 75,084 | 77,000 | 76,470 | 74,000 |
| うち特定財源 | | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 人工 | | 2.1 | 2.1 | 2.1 | 2.1 |
| 人件費 | | 15,120 | 15,120 | 15,120 | 15,120 |
| 計(事業費+人件費) | | 90,204 | 92,120 | 91,590 | 89,120 |
| 事業費の内訳 | 令和3年度決算 | (1)研究開発補助等 60,496千円 (2)商談機会の提供 8,280千円 (3)ヘルスケア産業ビジネスモデル構築支援 7,696千円 | | | |
| | 令和4年度予算 | (1)研究開発補助等 56,430千円 (2)商談機会の提供 8,760千円 (3)ヘルスケア産業ビジネスモデル構築支援 8,810千円 | | | |

◎検証(振り返り)

| 活動指標1 | 指標名 | 補助採択件数(累計) | | |
|------------------------------|---|---|-----------------|----------------|
| | 令和2年度実績 | 令和3年度予定 | 令和3年度実績 | 令和4年度予定 |
| | 88 | 96 | 109 | 116 |
| 活動指標2 | 指標名 | | | |
| | 令和2年度実績 | 令和3年度予定 | 令和3年度実績 | 令和4年度予定 |
| | | | | |
| 成果指標1 | 指標名 | バイオ産業の売上高 | | |
| | 令和2年度実績 | 令和3年度目標 | 令和3年度実績 | 令和4年度目標 |
| | 958 | 684 | 967 | 730 |
| 成果指標2 | 指標名 | | | |
| | 令和2年度実績 | 令和3年度目標 | 令和3年度実績 | 令和4年度目標 |
| | | | | |
| 項目 | 判定 | 理由 | | |
| 事業の成果 (目的をどの程度達成できたか) | A | (1)当該補助金によって健康医療関連分野の研究・新シーズ発掘が促進されている。 (2)継続的な出展を通じて企業の知名度や商談の精度・内容の向上につながっており、取引拡大への効果が出ていると考えられる。 (3)採択事業に支援を実施し、それぞれビジネスモデルの構築が進んでいる。 | | |
| 事業規模 (事業ボリュームは適切か) | A | (1)、(2)、(3)補助対象経費の範囲や補助上限額は、他機関の制度と比較して妥当な水準である。 (2)国や関係機関、民間団体等と連携して実施している事業であり、連携先と協議のうえ事業内容や規模を決定している。市単独での実施よりも効果的で適切な事業規模であると判断する。 | | |
| 事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か) | A | (1)、(2)産学連携分野に幅広いネットワークを持つノーステック財団が担い手となって実施することで、効果的・効率的に事業が運営されている。 (3)専門的知見のある外部委員等で構成する審査委員会にて、実現可能性や成長性が見込まれる案件を採択している。 | | |
| 対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか) | A | (1)、(3)採択枠を上回る数の申請を受けており、ニーズはあるものと認められる。 (2)参加企業へのヒアリングやアンケート調査による満足度は良好。 | | |
| 市民参加の実施 | <input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外 市民参加結果への対応 <input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映 | | | |
| 今後の改善点 | 補助金、セミナー等については今後も幅広く周知を行っていく必要がある。 展示商談会等の出展支援については、企業ニーズ及び業界動向を踏まえながら、一層効果的な実施内容・出展先を検討していく。 | | | |
| 前回の評価 | ● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし | | | |
| 今年度取り組んだ見直し内容 | なし | | 見直し効果額 (前年度) | 0 千円 |
| 今回の評価 | ● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし | | | |
| 評価の理由 | 補助事業については、採択枠を上回る申請を受けており、効果的な実施が出来たものと判断。各種セミナー、展示商談会支援についてもコロナ禍の状況で適した回数・内容の実施が出来たものと判断する。 | | | |
| 次年度の取組の方向性・改善内容 | 事業内容 | ● 改善 ○ 現状維持 ○ 休止・廃止 これまでの支援に加え、より効果的に優れたシーズを発掘するための補助金内容の見直し、市内の優れた研究内容や企業を道外へ更に周知するための機会の提供、バイオベンチャー育成支援のための専門家による支援、バイオ企業及び起業検討者からニーズの多い経営人材マッチングの実施を検討する。 | | |
| | 予算 | ● 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ その他 新たな課題に対応すべく、事業内容を構築し、必要な予算を確保していく。 | | 見直し効果額 0 千円 |